

8つのまちづくり7

# 地球にも人にもやさしい持続可能なまち

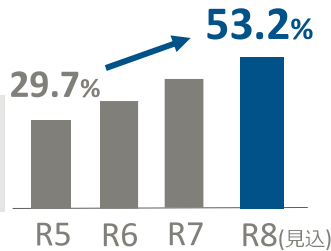
脱炭素化に向け、省エネルギー機器や再生可能エネルギーの導入拡大を図るとともに、環境教育など区民の行動変容につながる取組を進めます。  
プラスチック資源回収の実施など、3Rの推進や、地域美化の向上、アスベスト対策などにより、環境都市づくりをさらに加速します。

## 脱炭素（ゼロカーボンの実現）

### ■ 再生可能エネルギー電力の導入 拡充

小・中学校などの電力を再生可能エネルギー電力に切り替え、区有施設への再生可能エネルギー電力導入をさらに進めます。

区有施設の再生可能エネルギー電力の使用割合



### ■ マイボトル用給水機設置場所の拡大 拡充

マイボトル利用による環境負荷の低減や夏季の熱中症予防対策として、マイボトル用給水機の設置場所を45か所に拡大します。環境意識を醸成しつつ、より身近な公共施設を目指します。

**【設置場所】**

区有施設31か所  
→ 45か所へ拡大



### ■ 省エネルギー機器・設備等の導入費用助成の拡充 拡充

これまで

太陽光発電システムなどの省エネルギー機器等の導入費用の一部を助成



予算総額の拡充

更に多くの方が助成制度を利用し、省エネルギー機器等を設置

更なるCO<sub>2</sub>削減を目指します!!

予算総額  
前年度比  
約2倍

対象：区民、集合住宅所有者・管理組合、中小規模事業者

### ■ 民間企業との連携

令和5年11月に、23区で初めてサントリーグループと環境包括連携協定を締結しました。今後も企業のネットワーク、人材、発信力などを活かしながら、環境啓発イベントでの連携をはじめ、脱炭素、環境教育、資源循環など、環境に関する様々な場面での連携を進めます。



▲エコライフフェア



▲サントリーグループとの環境包括連携協定

### ■ 行動変容のための情報発信強化

地球温暖化や気候変動への対策は、一人ひとりが環境問題を自分ごととして認識し、日常生活を環境に配慮した行動へ変えていく必要があります。今すぐ簡単に実践できる情報を発信するなど、積極的に普及啓発を行います。



### ■ 未来を担う子どもたちへの環境教育

家庭における省エネの実践や、自ら考え取り組む環境配慮行動に結びつけることを目指し、民間企業や地域の方々との連携しながら、地球環境の未来を担う子どもたちへの環境教育を進めます。



## 地域美化

### ■ みんなで取り組む快適な美化活動

まちの美化活動を推進していくために、としま“まちキレイ”プロジェクトとして、ごみゼロデーをはじめ、様々な活動を行います。としまシルバースターズやグリーンサポーターとの連携や、ごみ拾いSNS「ピリカ」の活用により、持続的な美化活動を展開します。



### ■ 民間事業者等による 公衆喫煙所設置等への助成

拡充

民間事業者に対して、公衆喫煙所の設置や維持管理にかかる経費を助成し、すでに2か所の喫煙所が設置されています。令和6年度からは、さらに設置時の助成額を増額するなど、公衆喫煙所の設置を促進します。

【助成金額】  
400万円  
→ 800万円



## ごみ減量・清掃

### ■ 3Rの推進

限りある地球の資源を有効に活用し、環境負荷を小さくするため、食品ロスの削減など、さらなるごみの減量やリサイクルを推進します。

資源・ごみの分別方法などの周知、3R推進キャンペーン、出前講座などを実施し、3Rの意識啓発を積極的に展開します。

区民1人1日あたりのごみ量（グラム/人日）



### ■ プラスチック資源回収事業

令和5年10月から、区内全域で、プラスチックを資源として回収しています。区民の方への周知に引き続き取り組み、さらなる適正な分別を定着させていきます。



▲動画による周知



▲出前説明会

## 都市公害

### ■ 化学物質の調査・適正管理

光化学スモッグの原因であるVOC（揮発性有機化合物）の排出抑制指導や、建物解体などの工事に起因するアスベストの飛散防止、大気や土壌の汚染状況、放射線量の監視により、健康・快適な環境を維持します。

### ■ アスベスト分析調査の費用助成

新規

解体等工事の際のアスベスト事前調査の実施を促し、飛散事故を防止するため、解体・改修工事の発注者（建築物の所有者など）に対し、飛散性アスベストの分析調査費用を助成します。



### 【R6新規・拡充事業】

脱炭素

- 新規 環境基本計画の中間見直し

ごみ減量・清掃

- 新規 第五次豊島区一般廃棄物処理基本計画策定
- 新規 リチウムイオン電池等の回収
- 拡充 生ごみ処理機購入費の助成